

トライケアへの診療情報提供

診療情報管理センター，医事課（情報管理係，病歴事務係）

取組概要について

在日米軍の軍人及びその家族が当院を受診する際にサポートを行うインターナショナル SOS 株式会社に、患者の診療情報を本院の窓口で紙媒体による提供から、決められた期日、時間帯に病院指定端末に接続してもらい、該当患者の診療情報をパスワード付きでダウンロード提供する仕組みを構築した。

この取組みのきっかけは？

2022年4月から医療保障制度であるトライケアが運用され、当院に入院している海軍病院の患者さんの診療情報を紙媒体で提供していましたが、本院まで来院していただく先方のご負担と、本作業に伴う本院の関係部署の負担軽減、用紙やプリンタインクを削減できないかと考え仕組みを考えました。

どうやって解決しましたか？

指定期日および指定時間内にインターナショナル SOS 株式会社専用のサーバに VPN 接続してもらい、本院があらかじめ準備しておいた該当患者情報をパスワード付きでダウンロードしてもらうようにした。

特にアピールしたい成果または効果は何ですか？

紙媒体からデータ化することにより、用紙代やプリントアウトに関する費用の削減、紙の診療情報提供の受け渡し対応窓口業務の解消、先方にとっては来院に係る時間と交通費の削減という双方にとって効果があったこと。

専用サーバでは、スケジューラで指定した時間になると、①複数の PDF を一つにまとめる、②PDF の枚数を計測（枚数によって料金が決定）、③患者ごとの PDF ファイルをパスワード付きの圧縮ファイルにする、④利用者に不要な文言を除いた（パスワードであることを伏せた）パスワードのみのメールを送付する処理を実装した。また、VPN を切断したタイミングで提供した PDF のバックアップを取る機能も備えた。

運用開始（2023/10/17）から 2024/5/21 現在、1,642 枚の診療情報を提供した。

取組みの中で難しかったことは何ですか？

セキュリティには非常に注意を払いました。病院情報管理システムは外部から簡単にアクセスできない独立した環境の中で、トライケア用の専用サーバと端末を設置し、不要なファイルの閲覧等されないようネットワークの信頼性を担保しながら病院 VPN(認証+ホワイトリスト)で実施していくこと。

取組みの結果、皆さん自身の働き方に何か変化はありましたか？

病院内ではアナログな作業が非常に多くあり、これらをどうやって DX 化できるかという視点で業務を見るようになった。

今後の展望として、DX 化する作業には物事によっては人手や時間を要するため、業務や優先度、費用対効果を考慮し、各々が持ち前のスキルやリスクリングなどで得た知識を提供し合い、協力しながら取り組むようにしたい。

当院での課題は、他施設においても同様であると考え、学会でのポスター発表などで広く発信していくことも検討している。

以上